



## 2学期も元気な「親の会活動」を

山口県ことばを育てる親の会

会長 加藤 碩

きびしい残暑が続いていますが、この「通信」が会員のみなさまに届くころには、さわやかな秋風が吹いているでしょうか。

6月の総会のあと、7月には場面緘黙の子どもたちを対象にしたキャンプを行い、100名のご参加がありました。8月6～7日岡山市で行われました全国大会には山口県から18名が参加しました。

この二つの取り組みを通して、共通して深められたことは、モットーになっている「子どもを真ん中に親と先生が子どもをしっかり支えて三人四脚ですすもう」の真ん中にいる子どもたちの「生きる力」をどう伸ばしていくか、両側からの支援はどうあるべきかということでした。

親や先生の「子どもたちがこうあってほしい」という願望から出発するのではなく、一人ひとりの子どもの本音を深く理解することから「子育て」も「教育」もすすめるということです。

「場面緘黙」の子どものデリケートな心模様に寄り添うことを深めたキャンプでは、私自身もたくさんのことを学びました。

いま山口県の親の会にもとめられているのは、新しく発足した通級指導教室にも、学校を単位とした「親の会」をどんどんつくっていくことです。3人、5人の「親の会」の茶話会から出発した「親の会」でよいのです。各市に一校のセンター的な「ことばの教室」があった時期から、現在は、一つの市に二校目、三校目の教室が生まれています。そこに一つずつの小さな「親の会」をつくっていきましょう。

そのための手助けは、県親の会の役員がにないましよう。そうしてこの2学期も元気な「親の会活動」をすすめましよう。

(2011年8月26日記)



県親の会総会より

## 成 2 3 年 度 役 員

会 長	加藤 碩	(山口市)	
副会長	高梨 洋子	(防府市)	梅本 玲子 (山口市)
事務局長	針間 嘉代子	(山口市)	
事務局員	笹尾 由美子	(山口市)	矢野 美文 (山口市)
	岡邑 佳子	(山口市)	

### 親の会の業務について

- 山口県ことばを育てる親の会事務局 山口市立白石小学校
  - パンフレットの普及・注文受付・発送 防府市立華浦小学校
  - 「ことば」「べる」の普及・発送 山口市立小郡南小学校
  - 「県ことばを育てる親の会通信」編集 防府市立佐波小学校
- \*通信の各学校の会員への印刷・配布はそれぞれの学校で行っております。今年もよろしくご協力ください。

### 総会に参加された方々からの感想・・・

初めて参加させていただきました。ことばを育てる親の会の歴史を知ることができ、講演もとてもいい勉強になりました。

なかなか会員が増えない現状を知りました。すべての通級している子どもたちの保護者が会員になって盛り上がればよいと思いました。

初めて講演会に参加しました。これから子どもにことばをいろいろ教えていきたいと思いました。池田先生の鼓ヶ浦に検査に行きたいと思いました。

多くの学校で親の会の活動が行われていることに驚きました。学校ごとの交流に時間をかけてほしかった。

講演会のお話がとてもよかったです。発達障害児の眼球運動の話がもっと聞きたかったです。

総会では他校の行事内容もおしえていただき参考になりました。ありがとうございました。

親の会設立に45年経ったということを知り、コツコツとこれまで親の会を続けられ、大きくされたことへのご尽力に感謝の気持ちでいっぱいです・・・親同士の親睦を深め、活発な活動をしていこうと心新たにになりました。

本校の親の会も、集まっておうちの方の子育ての参考になる会にしていけるようにして、つながりを強めていきたいと思った。講演会では鼓ヶ浦がいろいろな発達障害の子どもたちに対応できる病院にかわってきていることを知ることができた。

紙面ではご紹介しきれませんでした。大変申し訳ございません。

6月25日の山口市立小郡南小学校での総会では、遠路よりたくさんのご参加をいただき、大変ありがとうございました。

## キャンプに参加して・・・

今回は（キャンプに）参加させて頂きありがとうございました。どうしたらよいのだろうと悩んでいたことを、角田先生にお聞きできてよかったです。つい落胆してしまいましたが、ゆっくりでよいんだと聞いてから、少しホッとしました。焦らず娘とゆっくり進んでいきたいと思います。（キャンプ中）娘本人もとても楽しそうに過ごしていました。本当にありがとうございました。（1年女児の母）

今回通級を通して、親子キャンプに参加できたことが、親子共に喜び多いことになり、嬉しく思いました。親子で参加する前は、正直頭の中は我が子に対する不安ばかりがつのり、誰も知らない場所へ飛び込んで活動する・・・大丈夫だろうか。そのことばかりでした。でも、この1泊2日ではちょっと物足りないぐらい。子どもも、先生や他の家族とのふれあいの中で、一歩ふみだす勇気を持てたことが、これからのきっかけ作りにつながる経験となれたことが、一番嬉しかったです。これからも、わが子のために親として手助けしていきたい、一緒に成長していきたいです。（1年男児の母）

二日間講演を聞かせていただきました。もっと早くお話を聞かせていただいていたなら、よかったなと思います。つい言ってしまったこと、何気なく言ってしまったことで、本人を傷つけてしまったなととても反省しています。私も先を急ぎすぎしていました。女の子なので友達関係が難しくなるだろうから、早く話せて欲しいと思っていましたが、親がゆったりと構えないと、子どもの不安も減りませんね。あせらず、がんばりたいと思います。（3年女児の母）



実り多いキャンプになりました。スタッフの皆さんの事前の細やかなご配慮、ボランティアの方々の心強いサポートに深く感謝いたします。

## 場面緘黙のキャンプを終えて



山口市立良城小学校

通級指導教室 小野 昭衣

7月29日・30日と二日間のキャンプを終えようとしている閉会式の時、参加した子どもたちに、「キャンプに参加して、楽しかったですか。」という問いを投げかけました。それまで下を向いて思い思いのことをしていた子どもたちが、ぱっと顔をあげて、にこっと笑顔を返してくれました。そして、次に保護者の皆さんに向かって、「このキャンプがお役に立ちましたでしょうか。」という問いに、大きくなずいてくださいました。この瞬間に、これまでの大変さが報われた思いがしました。夏休みに入っても、毎日遅くまで一緒に準備をしてきた市川先生に、この瞬間をみてもらえなかったのは残念でしたが。

一年前、一年生二人が場面緘黙ということで、良城小学校の通級指導教室へ通い始めました。場面緘黙の子どもについては、数十年前「ことばの教室」の頃お世話をしたことがありましたが、あまり記憶に残ってはいませんでした。最近の状況はどうなっているのかと調べ始め、研究会で「場面緘黙Q&A」という角田圭子先生の本に出会いました。とても参考になったのはもちろんですが、ちょうどその頃、伊藤伸二先生に来て頂いて吃音のキャンプを終えたばかりだったので、来年は、角田先生に来て頂いて緘黙のキャンプができたらいいなと漠然と夢みたいなことを考えていました。

こうやって、実際にキャンプができ、角田先生には快く山口までおいでいただき、ご指導を仰げたことは感謝してもしきれません。先生のお話が、多くの保護者や指導に当たっている先生方の意識を変え、子どもたちが楽に過ごせるようになるために役に立っていくことと確信しています

「人前に出ることの苦手な場面緘黙の子どもたちが、キャンプに参加しますか。」という疑問に、「なるほど。」とは思いましたが、自校の5家族は参加するだろうと楽天的に構え、実施に踏み切りました。今回の参加者は、該当の15家族に、講演会に参加してくださった先生方、またスタッフとして手伝ってくださった先生方、ボランティアの山口大学の学生さんたちをあわせると、総勢103人でした。

キャンプの運営にあたって、多くの通級指導教室の先生方や良城小学校の親の会のみなさん、県親の会の役員の方々にお手伝いをいただき感謝しています。また、子どもたちから笑顔を導き出してくれた学生ボランティアの皆様にも、お礼を申し上げます。

通級指導教室へ通ってくる子どもの中では、決して多い人数ではないけれど、困っているのは同じ。最後に見せてもらった笑顔とうなずきを励みに、明日からもお役に立てるように精進したいと思っています。

## 第24回全国ことばを育む会全国大会 岡山大会に参加して

下関市ことばを育てる親の会

誠意小学校支部長 熊澤 康浩

「通い合うところとことば～晴れの国で 語り合おう 学び合おう」をスローガンに開催された岡山大会に参加し、全国各地から集まった親の会に関わる方たち（保護者・先生・・・）と共に過ごした2日間は、とても有意義で価値のあるものでした。

1日目・・・記念講演「育ち合う心を求めて～ことばを育む意味を考える」（講師・鳥根大学教育学部教授 肥後功一先生）、意見交換会

2日目・・・シンポジウム「通じ合うことの意味を考える～子どもとの日常の関わりを通して」（4人の親の体験談など）



この2日間の研修を通して、普段、何気なく語っている「ことば」や「コミュニケーション」のあり方を深く考えさせられました。また、参加された方々のそれぞれの現状から語られる「ことば」にも、心に強く響くものがあり、よい刺激として受け止め、今後活かしていきたいと思えます。

最後に、今回の大会でも強く意識していましたが、「こころ」のあり方について感じたことをお伝えします。よく、「こころ」を込めると言いますが、「こころ」は見えないものであることから、おろそかにされがちです。私は娘や家族に何かを語る時に、その「こころ」の状態が影響すると考えて、できるだけ良いことを意識して「こころ」を込めて語るようにしています。そのおかげか、娘も、自身の問題と向き合いながらも明るく前向きに歩んでいる気がします。ちょっとした心がけですが、その繰り返しが豊かな家庭を築き上げ、周囲にも良い影響を与えていくのではないのでしょうか。



## .....親の会紹介 .....

### 長門市ことばの教室親の会

長門市ことばの教室親の会では、今年度も年2回の研修会やお楽しみ会が企画されています。親の会便り（おやこ日和）も毎月発行しています。

今回は7月9日（土）に行った第1回研修会（親子・自然ふれあい体験活動）についてお知らせします。

校長先生へ

土曜日は、クワガタとりにつれていって来てありがとうございました。

校長先生が木をけったら、ぼくのところにミヤマクワガタがきたからよかったです。ミヤマクワガタが2ひきとれました。校長先生のいうことを聞いてよかったです。

仙崎小 Nくん



梅雨明けの暑い日ざしが降り注ぐ中、国立山口徳地青少年自然の家の森の中でクワガタを採りました。日頃はお母さんの参加が多い親の会ですが、今回はお父さんの参加が多くみられ、話が弾みました。

長門市ことばの教室親の会 会長 杉山則夫

名池小学校 親の会活動報告

夏の親子野外活動

「親子で遊ぼう」



‘下関ことばを育てる親の会’では、名池小学校と誠意小学校の2つの親の会が協力し、温かなふれあいを目指して活動を積み上げています。

親子ふれあい活動は、学期に1回を基本として計画し、名池小学校主催（1・3学期）と誠意小学校主催（2学期）の会で、各々の地域性を活かした活動を提供し合うようにしています。今年の7月は、長府乃木浜総合公園に集合して

の野外活動を実施しました。天候が心配される時期でしたが、両教室からの参加者があり、暑さを吹き飛ばすような元気な声があちらこちらからあふれていました。

前半は、隠された7つのキーワードをみつけてことばをつくるウォークラリーを楽しみました。好タイム目指してキーワード探しに走り回る親子あり、のんびり散歩を楽しみながらキーワードを見つけている親子ありと、それぞれの家族に合ったスタイルで楽しめたのではないかと思います。通級児童のみでなく兄弟姉妹の参加も多く、協力したりライバルになったりしながら、最後のごほうびシールにみんな目をきらきらさせていました。

後半は、自由遊びの時間としました。大型遊具や広場で、年齢に関係なく仲良く遊んでいる子どもたち。1～2時間前までは「はじめまして」の挨拶を交わしていたのに、今や笑顔で語り合っている保護者の方々。ふだんはなかなか会えない関係でありながらも、子どもたちを中心に、心の輪がつながり広がっていく様子が見えたように感じました。



現在、名池小学校は、親の会入会者が減少してきていることが課題のひとつです。親の会の先輩方の活動による成果を若いお母さん方に知っていただくことも必要であると感じますし、現会員の皆さんの活動についてもしっかりと知っていただくようにしていくことも重要であると考えています。そのきっかけの軸として、より楽しい親子活動を今後も継続していきたいと考えています。



## あとがき

今年度の「県ことばを育てる親の会通信」をたいへんお待たせしました。「総会」から8月の岡山県での全国大会までの記事を掲載させていただきました。各地区での親の会の生き生きとした活動状況を拝見し、頼もしく思います。9月以降もみなさまのますますのご活躍をお祈りしております。

立ち上げれ  
**日本!**

### お知らせ

今秋の全県キャンプ・研修会は11月26日(土)に1日だけのデイキャンプで計画中です。より多くのご参加をお待ちしています。